
大阪音楽大学 大阪音楽大学短期大学部

日本語ライティング支援室

「ライティング」とは、文章を書く技術のことです。

音楽ができる大音生に、ことばも使いこなしてほしい。

社会ともっとつながるために。

大阪音楽大学 大阪音楽大学短期大学部の新しい取組を紹介します。

音楽×ことばって
どんなことができるの？



日本語ライティング支援室

大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部には、日本語ライティング支援室という場所があります。ここでは、チラシ作りや企画書の書き方など、音楽を社会に届ける時に必要な文書の作り方を教えるところです。学生の皆さんが、いつでも自由に利用できる部屋で、専門のスタッフから、色々な「ことば」の使い方を教わることができます。どんなふうに行けば、自分の考えを伝えられるか。どんなデザインを選べば、自分の思いを伝えられるか。音楽を創造するだけでなく、それをきちんと社会に届けるスキル。卒業後も、社会で幅広く活躍できる人材を育てるために、大音が始めた新しい取組です。



音楽とともに こんな「ことば」を学びます

入学したら思いっきり
音楽活動をしてみたい！



LET'S STEP UP!

さあ、入学してきたあなた。大音では、思いっきり音楽に打ち込む経験ができます。専門的な技術や知識を学ぶ、大人数で協力して舞台を作り上げる、色々な音楽の「なぜ？」をとことん考えてみる……まずは行動です！

STEP 1

音楽仲間を作ろう

音楽活動を始めるにあたって、まずは仲間を作りましょう。その時はぜひ、日本語ライティング支援室の**名刺作成**講座へ。昼休みの30分で、自分のオリジナル名刺を作る講座です。名刺は学内で配るだけでなく、楽器店やライブハウスなどで自分を売り込む際にも使えます。

名刺作成

STEP 2

学内のコンサートに出演する 学外のコンサートに出演する

練習の成果をどんどん発表したいあなた。学内にある本格的なコンサートホール「ミレニアムホール」では、門下発表会や選抜演奏会など、毎月多くの演奏会が行われていますので、ぜひ出演を。出演すると、**曲紹介の文章(プログラムノート)**を書く機会もやってきます。専門的な紹介文からユーモラスな紹介文まで、日本語ライティング支援室で極めましょう。添削を受けて、きちんとした**敬語の使い方**も身につけていきます。

演奏ボランティアや商業施設でのコンサートなど、多種多様な場所で経験を積みたいあなた。先生や、キャリア支援センターの「音楽の仕事情報館」などから、学外演奏の紹介をしてもらいましょう。どんな曲をどんなふう演奏すればいいか、考えてチャレンジする経験はとても貴重。経験を深めるために、日本語ライティング支援室が**報告書**や**アンケート**の作り方を教えます。

出演申込書作成

プログラムノート作成

よしよ
よしよ

報告書・アンケート作成

企画書作成

チラシ・フライヤー作成

STEP 3

自分でコンサートを主催する

経験を積み、自分でも演奏会を主催してみたくなったあなた。どんな演奏会にしたいですか？ ターゲットはどんなお客さんですか？ 全部まとめて、**企画書**の形に書き出しましょう。それから、**会場の使用申込書**、**予算書**、出演者やスタッフの調整、**チラシ作り**、**プログラムの冊子作り**、会場で配る**アンケート作り**、ステージの**進行表作り**……仕事はたくさん。でも、これらの書き方・作り方・考え方を身につけておくと、色々な場面で応用できます。将来演奏家になっても、音楽の先生になっても、企業に勤める場合でも、自信をもって進んでいくことができます。

STEP 4

さあ、卒業！

色々な経験を経て、卒業するあなたには、たくさんの力が身についています。演奏や作曲などで、豊かな音楽を生み出す力。そして、それをきちんと社会に伝える「ことば」の力。皆さんの進路に応じて、日本語ライティング支援室では、**教育実習**や**インターンシップ実習**における**実習日誌**の書き方指導、また就職活動の際の**エントリーシート**の書き方指導や、**小論文**添削など、キャリアのためのサポートをしています。学生時代の経験を、エントリーシートで、企業の人にしっかり伝える。卒業後を考えて、日本語ライティング支援室は、幅広い視点で学生の皆さんのサポートをしていきたいと考えています。

卒業！



講座・イベントの開催

昼休みを利用した名刺作成講座や、音楽活動に役立つ様々な講座、講演会など、たくさんのイベントを開催しています。



雑誌作りの体験

『writing note フリーマガジン版』を定期発行しています。学生や教職員の「声」を届ける雑誌です。インタビュー「大音のめがねさん」や学生座談会など、盛りだくさんの内容。学生自身が記事を企画し、雑誌作りを体験することもできます。



個人添削

日本語ライティング支援室は誰でも利用可。専任教員とスタッフが常駐し、いつでも個人添削の要望や書き方相談を受け付けています。



演奏会の記録作り

大音生は、学内外問わず、数多くの演奏の場を体験します。その場で得た体験を、記録や報告書の形で「ことば」によって蓄積していくことで、自分の体験を的確に他者に伝える力や、自分を客観的に見る力、音楽を分析する力などを養います。日本語ライティング支援室は、記録用紙の開発やふり返り会の実施などで、学習体験を深めるためのサポートをしています。書き方のハウツーを教えるだけでなく、音楽を通じて学んだことを、一生の財産として積み重ねていくための支援です。



教材『writing note』を作成

大音生に必要な「書き方」をまとめたオリジナルの教科書です。レポートの章、音楽活動の章、インターンシップ実習の章、就職活動の章からなり、入学から卒業まで幅広く使えます。全学生に配布しており、授業でも使用しています。



文部科学省 平成 24 年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」採択事業

本学は、文部科学省より平成 24 年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の採択を受け、大阪、兵庫、和歌山の 14 大学の協働で、「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」事業に取り組んでいます。日本語ライティング支援室は、この事業における本学の独自取組として、音楽大学・音楽大学短期大学部の特色を活かしたキャリア教育を行い、社会で幅広く活躍できる人材の育成を目指しています。

